



聴覚障害者が 東日本大震災への 支援・復興の情報に取り残されないために…

このたび東日本大震災で被害を受けられたみなさまに謹んでお見舞い申し上げます。

日本財団では「遠隔情報・コミュニケーション支援センター」を東京赤坂の日本財団ビル内に開設いたしました。

携帯情報端末やパソコンなどを使った「代理電話支援」、「遠隔通訳支援」、「文字情報支援」の遠隔情報支援を行います。

被災地三県 **岩手県** **宮城県** **福島県** にお住まいの聴覚障害を
お持ちの方は**無料**でご利用になれます。

※上記の3県以外の方で、今回の震災で被災された方もご利用頂けます。



FAXなら

0120-522-899

メールなら

E-mail:nf-support@plusvoice.jp

Webなら

http://plusvoice.jp/nf-support/

遠隔通訳支援

●聴覚障害者と健聴者が対面している場合●

テレビ電話の映像を用いて**手話**で通訳します。

手話がわからない方には、健聴者の言葉を**文字**に変換します。



映像を用いて
手話・文字で通訳

代理電話支援

●聴覚障害者と健聴者が離れている場合●

文字や映像をつかって聴覚障害者がオペレータと話します。

オペレータはお相手の健聴者に電話で通訳します。



携帯メール、FAXや
映像を用いて手話・文字で通訳



受付 **健聴者**

聴覚障害者

病院や学校、役所などのお相手の方

遠隔通訳システムのある病院や学校、役所などでのご利用となります。

聴覚障害者

ろう者
テレビ電話による手話

筆談する難聴者
テレビ電話による筆談

普段使っている携帯メールやFAXを使う

ご利用にあたっての



Q1 利用料はいくらですか？

A: 岩手県、宮城県、福島県の聴覚障害者は通訳サービスを無料でご利用になれます。
(ただし、ご利用者様から当センターまでの通信費はご利用者様のご負担となります。)

Q2 24時間利用できるの？

A: 申し訳ありません。受付時間は8時～20時です。
ただし、土日祝日なく年中無休で受付しています。

Q3 震災に関する電話しか利用できないの？

A: いいえ。震災に関連することはもとより、生活再建も
震災支援の一助と考えています。
日常生活のちょっとしたことでもご利用下さい。



Q4 それでは、どんなことに利用できるの？

A: 役所や公共機関への書類の申請方法などのお問い合わせやメーカーのコールセンターへのお問い合わせ、
飲食店への出前の注文、宅配便の再配達依頼、職場への連絡、お子様の学校や幼稚園への連絡、ご家族、
お友達への連絡、など健聴者とのコミュニケーションが必要になる場面で、遠慮なくご利用下さい。

Q5 何を用意すればいいですか？

A: お手持ちのパソコンや携帯端末でご利用ください。E-mail、FAXでもご利用できます。
具体的に当センターで受け付け可能なものは、
…Eメール、FAX、Skype、Windows Live Messenger、Yahoo Messenger、Facetime、iChat、フレッツフォン、TeleBB
上記以外のものでご利用をご希望の方はご相談下さい。

Q6 住まいは三県以外なのですが…

A: サービスの対象県は岩手、宮城、福島のみですが、東日本大震災の被災証明をお持ちの方には、三県以外でも
サービスをご提供しています。詳しくはお問い合わせ下さい。

<http://plusvoice.jp/nf-support/> 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援事業ホームページ

The screenshot shows the website interface with a top navigation bar containing 'ホーム', '遠隔情報について', '支援メニュー', 'インターネット利用', 'プライバシーポリシー', 'お問い合わせ', and 'お申込み'. The main content area is titled '変換メニュー：情報提供支援' and includes a diagram showing the flow from 'インターネットラジオから情報を入力' to 'Twitter, Facebook, Weibo' and '文字情報化'. Below this, there is a list of supported radio stations: 岩手県 ラヂオもりおか みよこさいがVFM 陸前高田災害FM, 宮城県 RADIO3 ラジオ石巻 BAYWAVE Im'sみゆ りんこラジオ なららぎ 南三陸災害FM 安房野いらいVFM放送局 けせんぬまさいがVFM, 福島県 エフエムセントラル FM+ゆめ 南相馬さいがVFM 郡山コミュニティFM. On the right side, there is a search bar and a section titled 'お申し込み' with a list of supported services: 【テレビ電話】 Facetime, 【テレビ電話/文字チャット】 Skype, Windows Live Messenger, iChat, 【文字チャット】 Yahoo Messenger, 【専用端末】 フレッツフォン.

個人の方のご利用以外にも、役所や障害者団体の窓口の設置などにもご協力をお願いしています。
もし端末を設置したり、詳しく知りたいという公共機関、団体の方がいらっしゃいましたらお知らせください。

◎お問い合わせなど、お気軽にこちらへ◎

東日本大震災被災地聴覚障害者向け 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援センター

〒107-8404 東京都港区赤坂1丁目2番2号(日本財団ビル2F) 電話:0120-522-499 FAX:0120-522-899 (8:00~20:00)
E-mail:nf-support@plusvoice.jp WEBサイト <http://plusvoice.jp/nf-support/>

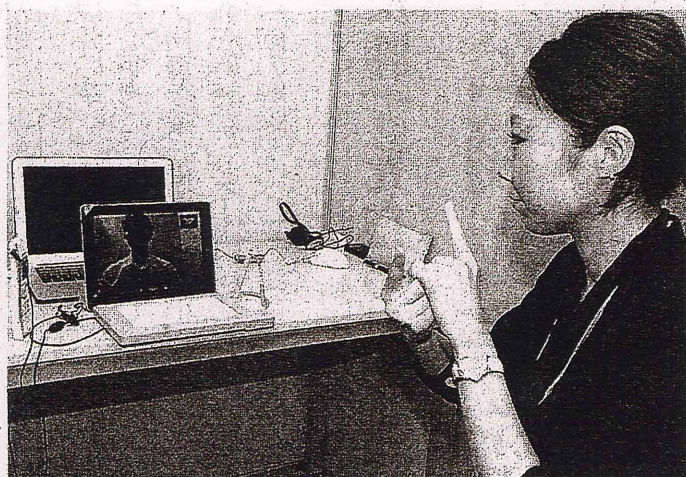
運営:株式会社プラスヴォイス

※本サービスのご提供は2011年9月11日～2012年9月10日までの1年間を予定しております。

代理電話支援の

主な利用例 こんなことに使われています!

代理電話かけ先	主な用件	代理電話かけ先	主な用件
役場	役場から届いた書類の問い合わせ	宅配業者	不在票による再配達依頼
医療機関	診療予約、緊急外来	飲食店	席の予約、出前
テレビ電話手話通訳	店員等、出先での通訳依頼	美容院・理髪店	予約・問い合わせ
手話通訳派遣関係	通訳者との待ち合わせ連絡	ホテル・旅館	予約・問い合わせ
勤務先	遅刻・欠勤の連絡	家電量販店	購入後の相談
忘れ物、落し物搜索	立ち寄った場所へ搜索依頼	電気・水道・ガス	使用停止、開始手続
求職関係	応募について問い合わせ、職安への問い合わせ	メーカー	製品問い合わせ
JAF	自動車の事故・トラブル緊急連絡	タクシー、レンタカー会社	予約・配車依頼
相談センター	相談可否の確認、相談予約	携帯電話会社	操作方法
家族・知人	連絡	パソコンサポート	トラブル解決方法の問い合わせ
学校等	子供の担任等への連絡	引越業者	見積り、打合せ
電話着信の確認	かけてきた相手、要件の確認	ペットサービス	ペットホテル、トリマーへの連絡



代理電話のデモンストレーションをするオペレーター

日本財団（東京都港区）は11日、被災地の聴覚障害者が素早く情報を得たり、発信することができる遠隔通訳サービス「遠隔情報・コミュニケーション支援センター」を、同財団ビルに設けた。手話ができるオペレーターを通じて代理電話の無料サービスなどをする。

10年度現在、聴覚の障害者手帳を持っている人は岩手県5391人、

聴覚障害者向け遠隔通訳

日本財団 無料で提供

宮城県6130人、福島県7761人。聴覚障害者は音声情報を得にくく、電話をかけられない。そのため救援物資をもらい損ねたり、仮設住宅の申し込みが遅れることがある。今後、証明書発行や求職活動でも問題が生じかねない。

現在、被災3県で手話通訳士の資格を持つ人は約80人いるが、被災地が広いことや、通訳士自身が被災して十分な支援ができないことから、開設を決めた。

聴覚障害者が手話や文字で依頼内容や相手先の電話番号をオペレーターに伝えると、オペレーターが本人に代わって相手先とやりとりする。依頼先の発言も同時通訳する。個人だけでなく、役所や病院などにもテレビ電話ができる携帯端末を提供する予定。開設時間は8～20時で年中無休。被災3県で障害者手帳を持つ人は無料で利用できる。1年間は続ける。利用には登録が必要。問い合わせは03・62229・5600、ファクス03・62229・5569、メール（nf-support@plusvoice.jp）。

【宮地佳那子（写真も）】



0120-522-899

東日本大震災被災地聴覚障害者向け 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援事業

| 利 | 用 | 者 | 登 | 録 | 書 |

※登録後、ご利用のための「ご利用の手引き」をお送りいたします。

お申込年月日	平成 年 月 日		
ふりがな			
ご登録者名			印
ふりがな			
ご住所 (アパート名・部屋番号 もご記入下さい)	〒		
F A X		音声電話 (利用可能な方)	
メールアドレス	(携 帯)		
	(パソコン)		
生年月日	平成 年 月 日生 昭和	性別	男・女
備考 その他ご意見			

※別途、身体障害者手帳をコピーの上、この登録書と一緒に送りください。
 (身体障害者手帳をお持ちでない方は別途ご相談ください)

※お客様の提供していただいた個人情報の取り扱いについては当センターのプライバシーポリシーに基づき、適切な取り扱いと管理に努めます。
<http://plusvoice.jp/nf-support/privacypolicy/>

東日本大震災被災地聴覚障害者向け 日本財団 遠隔情報・コミュニケーション支援センター
 〒107-8404 東京都港区赤坂1丁目2番2号(日本財団ビル2F) Fax:0120-522-899/Tel:0120-522-499
 E-mail:nf-support@plusvoice.jp ホームページアドレス:<http://plusvoice.jp/nf-support/>